

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度（2022年度）		授業科目	リベラルアーツ特論2（日本近代文学・演劇）
科目基礎情報						
科目番号	4SR27		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	適宜必要な資料及びプリントを配布する。					
担当教員	鴨川 都美					
到達目標						
1. 優れた現代演劇に数多く触れることで、柔軟な感性を養う。 2. 作品を正確かつ豊かに鑑賞し、独自の解釈を持てるようにする。 3. 作品に対して作り上げた解釈を、自身の言葉でわかりやすく表現できることを目指す。 4. 作品に描かれる社会的な背景、問題について自分の意見を持てるようにする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	観劇後に主体的な解釈を豊かに作り上げられる。		観劇後に主体的な解釈を作り上げられる。		観劇後に主体的な読みを作り上げられない。	
評価項目2	作品の社会的背景を意識し、展開や様式に興味を持ち、鑑賞できる感性を持てる。		作品の社会的背景を意識し、展開や様式に興味を持つことができる。		展開や様式に興味を持つことができない。	
評価項目3	自分が作品に対して持った解釈や感想を、豊かに表現することができる。		自分が作品に対して持った解釈や感想を、表現することができる。		自分が作品に対して持った解釈や感想を、表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	主に2000年代以降の現代演劇を中心に取り上げる。舞台映像を鑑賞した上で、作品の背景や特色を見出し、理解を深めていく。映像だけでなく、戯曲（上演台本）にも触れることで、多角的に演劇作品の主体的な読みを作り上げていく。また、日本語表現の美しさに触れながら、自らの表現力も高める場とすることをねらいとする。また、作品の社会的な背景に言及することで、自己の社会に対する認識を再考する。					
授業の進め方・方法	授業で取り上げる作品については、授業計画を参照すること。一作品につき、二週分の授業を行う。作品は前週までにプリントで配布するので、必ず授業には作品を読んで出席すること。一週目は、舞台映像の鑑賞をする。二週目までに舞台映像の感想分を書いて、提出してもらう。二週目の授業では、劇団や劇作家、上演評などに触れた上で、作品に対する自分の考えを文章で表現したり、グループでのディスカッションを行う。学期末には、授業で取り上げた作品のなかから一作品を選び、自身の読み方、理解の仕方を執筆し、レポート提出することを課す。					
注意点	各回の授業への参加度（出席、初読メモ・ショートコメント、提出物、ディスカッションでの態度等）50%、期末レポート50%で評価する。 100点を満点とし、60点以上を合格点とする。必要に応じて再試験相当の課題を出す。 作品によっては過剰な表現や深刻な内容を有する場合があるということを了承の上、受講すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	自己紹介。授業の進め方、取り組み方、レポートに取り掛かるタイミングについて理解を得ておく。		
		2週	日本演劇史	近代演劇の発祥から現代演劇までの流れを理解する。		
		3週	二兎社「ザ・空気_ver.2」（永井愛作）ほか	舞台映像の鑑賞し、課題を提出する。		
		4週	二兎社「ザ・空気_ver.2」（永井愛作）ほか	前週に提出した課題をもとに、グループワークを行う。		
		5週	二兎社「ザ・空気_ver.2」（永井愛作）ほか	劇団、劇作家の概要や劇評に触れ、作品の全体像を捉える。作品に描かれた内容や人物を通じて、自己の視野を広げる。自分はどう観るか、主体的な独自の読みを作り上げていく。		
		6週	劇団チョコレートケーキ「あの記憶の記録」（古川健作）ほか	前週に配布された資料を読んだ上で、舞台映像の鑑賞をする。気づいた点をメモする。		
		7週	劇団チョコレートケーキ「あの記憶の記録」（古川健作）ほか	前週に配布された資料を読んだ上で、舞台映像の鑑賞をする。		
		8週	中間試験	「あの記憶の記録」についてのショートレポートを書く。		
	4thQ	9週	劇団チョコレートケーキ「あの記憶の記録」（古川健作）ほか	劇団、劇作家の概要や劇評に触れ、作品の全体像を捉える。作品に描かれた歴史や現代に通じる問題を考えることで、自己の視野を広げる。自分はどう観るか、主体的な独自の読みを作り上げ、批評する。		
		10週	演劇批評について	演劇論の執筆例などをサンプルにした説明を聞き、演劇の論じ方、批評の仕方について理解する。		
		11週	イキウメ「聖地X」（前川知大作）ほか	前週に配布された資料を読んだ上で、舞台映像の鑑賞をする。気づいた点をメモする。		
		12週	イキウメ「聖地X」（前川知大作）ほか	前週に配布された資料を読んだ上で、舞台映像の鑑賞をする。批評文を書く。		
		13週	イキウメ「聖地X」（前川知大作）ほか	劇団、劇作家の概要や劇評に触れ、作品の全体像を捉える。作品に描かれた内容や人物を通じて、自己の視野を広げる。自分はどう観るか、主体的な独自の読みを作り上げていく。		

		14週	レポート課題の作品鑑賞		前週に配布された資料を読んだ上で、舞台映像の鑑賞をする。気づいた点をメモする。		
		15週	レポート合評会		各自が提出したレポートの合評会を行う。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	10	30	10	50	0	100
基礎的能力	0	10	30	10	50	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0